

令和7年度一般選抜A個別方式（第1期）出題意図

科目名：英語

- I. 慣用句を文脈の中で出題し、高校卒業レベルの英語力を持っているか、または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- II. コロケーションも含めた語彙を文脈の中で出題し、高校卒業レベルの英語力を持っているか、または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- III. 高校卒業レベルの統語力（文構造の理解）を問うており、添えられた日本語の文を正しく表現することが重要となる。設問12では“for a little while”の配置、設問13では“It is because A that B”の強調構文、設問14では“otherwise”の配置を問うている。
- IV. 自然な会話の流れを追う力を問う問題である。正解は文単位の理解ではなく、文脈全体の把握に基づいている。この会話は、2人の登場人物が曖昧な状況を理解しようとするやり取りを中心にしており、多くの質問や確認が行われている。推論力も求められている。
- V. 長文読解における文脈内の意味理解力を問う問題である。全体的な理解力、推論力、そして局所的な理解力が問われている。今回のテーマはビジネスに関するもので、「利点と欠点の比較」の理解が重視される内容となっている。問題は単語や単文からだけでは解けないものとなっている。
- VI. 短めの読解文における文脈内の意味理解力を問う問題である。テキスト内の重要な語彙的手がかり（転換語など）を通して理解する力が求められている。今回のテーマは「因果関係」に関するもので、時間の経過による変化と社会への影響を強調する内容が選ばれている。
- VII. 文法力を問う問題である。設問33では否定語+so 原級 asの比較表現、設問34では正しい動詞の時制及び主語と動詞の数一致、設問35では無生物に対する所有格関係代名詞“whose”の用法、設問36では“be to 不定詞”の用法、設問37では理由を表す“since”の用法を問うている。